

グリーン・ファイナンス

- ・ 日本政府の取組みについて
- ・ Green Finance Network Japanについて

2021年10月29日

高田英樹

(Green Finance Network Japan事務局長／財務省)

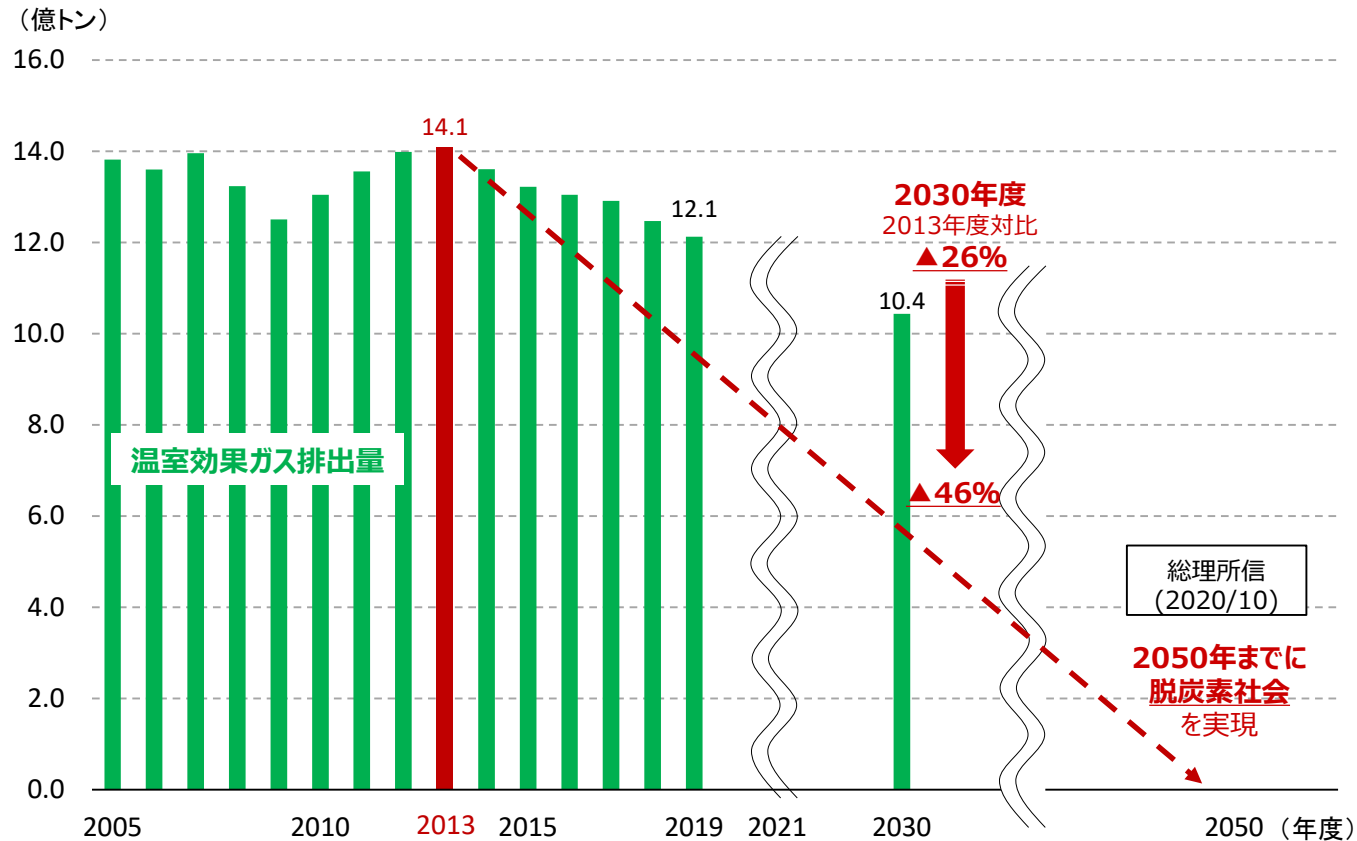
hideki.takada@mof.go.jp/takada1012@hotmail.com

※本プレゼンテーションは個人的な見解です

我が国の温室効果ガス排出量の推移と削減目標

- パリ協定に基づき最初に提出した我が国の温室効果ガス削減目標は**2030年度に▲26%減**（2013年度比）。我が国の**温室効果ガス排出量**は2014年度以降**6年連続で低下**。
- 2020年10月26日、菅総理は、脱炭素社会の実現に向けて総力を挙げて取り組み、経済と環境の好循環を作り出すことを通じて、**2050年までにカーボンニュートラルを達成していくことを表明**。2021年4月22日米国主催の気候サミットにおいて、**2030年度の削減目標について▲46%減を目指し、さらに▲50%の高みに向け挑戦を続ける旨を表明**。

我が国の温室効果ガス排出量の推移と削減目標



グリーン／サステナブル・ファイナンス に関する日本政府の主な取り組み例

- 年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が責任投資原則（PRI）に署名（2015年9月）
- 環境省がグリーンボンドガイドラインを策定（2017年3月）、グリーンボンド発行補助を実施（2018年度～）
- 金融庁（2018年6月）、日本銀行（2019年11月）がNGFS(Network for Greening the Financial System)に加盟
- 金融庁がサステナブルファイナンス有識者会議を開催（2021年1月～、6月報告書公表）
- 財務省が「気候変動に対する財務大臣連合」に加盟（2021年4月）
- 金融庁・経産省・環境省がトランジション・ファイナンス基本指針を策定（2021年5月）
- 財務省が外為特会によるESG投資を発表（2021年10月）

サステナブルファイナンス有識者会議報告書（概要）

－持続可能な社会を支える金融システムの構築－

2021.6.18

第1章 総論

基本的視点

サステナブルファイナンスは、持続可能な経済社会システムを支えるインフラ。民間セクターが主体的に取り組むとともに、政策的にも推進すべき。

横断的論点

ESG要素を考慮することは、**受託者責任**を果たす上で望ましい対応。

インパクトファイナンスの普及・実践に向け、多様なアイデアを実装していくことが望ましい。

タクソノミーに関する国際的議論への参画、**トランジション・ファイナンス**の推進（分野別ロードマップの策定等）が重要。

第2章 企業開示の充実

投資家・金融機関との建設的な対話に資する、サステナビリティ情報に関する適切な企業開示のあり方について幅広く検討を行うことが適当。

サステナビリティ

比較可能で整合性のとれたサステナビリティ報告基準の策定に向け、日本として、IFRS財団における基準策定に積極的に参画すべき。

気候関連

コーポレートガバナンス・コードの改訂（2021年6月）を踏まえTCFD等に基づく**気候変動開示の質と量の充実**を促すと共に、国際的な動向を注視しながら検討を継続的に進めていくことが重要。

第3章 市場機能の発揮

「グリーン国際金融センター」の実現により、世界・アジアにおける持続可能な社会の構築に向けた投融資の活性化に貢献。市場の主要プレイヤーが、期待される役割を適切に果たすことが必要。

機関投資家

ESG投資の積極的な推進やエンゲージメントに向けたコミットメントを強化することが重要。また、脱炭素化支援を目的とする国際的な取組みに参画し、情報収集や能力向上に努めるべき。

個人の投資機会

ESG関連投資信託の組成や販売に当たって**商品特性を顧客に丁寧に説明するとともに、その後の選定銘柄の状況を継続的に説明**すべき。金融庁において、資産運用業者等に対するモニタリングを進めることが重要。

ESG評価・データ機関

金融庁において、**ESG評価・データ提供機関に期待される行動規範**のあり方等について、議論を進めることを期待。

ESG関連プラットフォーム

諸外国における取引所の取組み例を踏まえ、グリーンボンド等に関する実務上有益な情報が得られる環境整備や、**ESG関連債の適格性を客観的に認証する枠組み**の構築を期待。

第4章 金融機関の投融資先支援とリスク管理

金融機関が、サステナビリティに関する機会とリスクの視点をビジネス戦略やリスク管理に織り込み、実体経済の移行を支えることが重要。

投融資先支援

投融資先の気候変動対応支援のため、ノウハウの蓄積やスキルの向上、分析ツールの開発等を進めることが重要。

リスク管理

金融庁において、金融機関とシナリオ分析の活用について議論を進めるなど、**気候変動リスク管理態勢の構築**を促すことが適当（上記の投融資先支援に加え、気候変動リスク管理に係る監督上のガイダンスを策定）。

気候変動に関する日本銀行の取組み

金融政策

- 気候変動分野での金融機関の多様な取組みを支援するため、新たな資金供給を実施。

金融システム

- 金融システムの安定確保：気候関連金融リスクの適切な把握・管理。
- 金融仲介機能の円滑な発揮：取引先企業の脱炭素化に向けた金融機関の取組み支援等。
→ 考査・モニタリングにおける深度のある対話、シナリオ分析の実施に向けた検討、金融機関による開示の充実。

調査研究

- 気候変動問題による影響の分析深化。データの収集や分析手法の高度化。
- 金融市場・インフラの機能度を調査。決済システム・市場基盤整備に関わる課題の検討。

国際金融

- 国際的な気候変動に関する取組み進展、気候関連金融リスクに関する枠組み構築への貢献。
- アジアの市場育成の観点から、各国中銀との協力を通じたグリーンボンド等への投資拡充。
- 従来からの保有外貨資産に関する方針の下で、グリーン国債等の購入。

業務運営、情報発信

- 気候変動への対応を意識した取組み（温室効果ガスの排出削減など）。
- TCFD^(注)による推奨内容を踏まえた開示、気候変動に関する取組み全般の対外説明の充実。

(注) TCFD：気候関連財務情報開示タスクフォース

Green Finance Network Japan

- ▶ 日本における、官民のグリーン・ファイナンス関係者の連携
 - ▶ 情報・活動の共有と促進（共通のメーリングリスト作成）
 - ▶ 海外関係者との連携におけるプラットフォーム機能
 - ▶ インフォーマルなネットワークとして、個人の立場で自由に参加
- <http://greenfinance.main.jp/>

発起人：末吉竹二郎（UNEP FI特別顧問）

玉木林太郎（国際金融情報センター理事長）

事務局長：高田英樹（前OECD環境局上級政策分析官）

- ✓ 2018年9月から開始、160以上の組織から340名以上が参加（2021年10月）
（メンバーの所属組織の例）
 - ・ 中央省庁（財務省、金融庁、環境省、経産省等）
 - ・ 金融機関（民間金融機関、公的金融機関、日本銀行）
 - ・ 機関投資家・企業
 - ・ 研究者・シンクタンク
 - ・ 国際機関（OECD等）
 - ・ NGO・関係団体
 - ・ メディア
- ✓ 海外の多くの主要関係者も注目、メディア等でも紹介

Green Finance Network Japan 立上げ記念イベント

2018年11月3日（土）シンポジウム

「SDG s ・グリーンファイナンス
持続可能な社会へ向けた新たな金融
の潮流」

（基調講演）

末吉竹二郎：グリーンファイナンス推進機構
代表理事

（モデレータ）

高田英樹：前OECD環境局上級政策分析官

（パネリスト（発言順））

池田賢志：金融庁国際室長

芝川正：環境省環境金融推進室長

中空麻奈：BNPパリバ投資調査本部長

山崎周：三菱UFJ銀行プロジェクト環境室長

高石裕介：日本生命財務企画部担当課長

武藤めぐみ：JICA地球環境部部長

⇒約200名が参加



Green Finance Network Japan

第2回シンポジウム

2019年5月18日（土）

SDG s ・グリーンファイナンス 持続可能な社会へ向けた金融と官民の行動

（基調講演）

末吉竹二郎：UNEP FI特別顧問

玉木林太郎：国際金融情報センター理事長

鈴木秀生：大使・外務省地球規模課題審議官

（基調報告）

亀山康子：国立環境研究所

（紹介 谷淳也：Future Earth日本ハブ）

江夏あかね：野村資本市場研究所

（パネルディスカッション）

高田英樹：前OECD／財務省（モデレータ）

近江静子：アムンディ・ジャパン

桑田尚：金融庁

中空麻奈：BNPパリバ

永田綾：環境省

平井麻裕子：経済産業省

⇒200名超が参加



Green Finance Network Japan

第3回シンポジウム（オンライン）

2020年12月6日（日）

Green Recoveryとサステナブル・ファイナンスの役割

（ご挨拶（ビデオメッセージ））

小泉進次郎 環境大臣

（基調講演）

末吉竹二郎：UNEP FI特別顧問

玉木林太郎：国際金融情報センター理事長

河野正道：OECD事務次長

（基調報告）

中空麻奈：BNPパリバ証券・市場調査本部長

（パネルディスカッション）

高田英樹：財務省（モデレータ）

伊井幸恵：みずほ証券

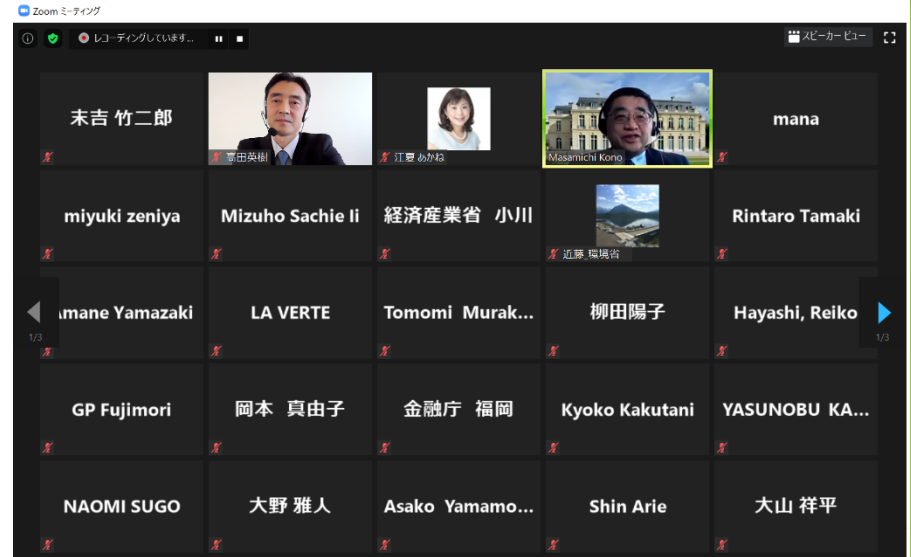
江夏あかね：野村資本市場研究所

小川幹子：経済産業省

近藤崇史：環境省

銭谷美幸：第一生命

福岡恵美：金融庁



Green Finance Network Japan

第4回シンポジウム（オンライン）

サステナブル・ファイナンス：脱炭素化へ向けた世界の潮流と金融の役割

2021年6月19日（土）

（ご挨拶（ビデオメッセージ））

小泉進次郎 環境大臣

（基調講演）

末吉竹二郎：UNEP FI特別顧問

玉木林太郎：国際金融情報センター理事長

石井菜穂子：東京大学理事・教授

清水季子：日本銀行理事

（基調報告）

江夏あかね：野村資本市場研究所

中空麻奈：BNPパリバ証券

（パネルディスカッション）

高田英樹：内閣官房気候変動対策推進室

伊井幸恵：みずほ証券

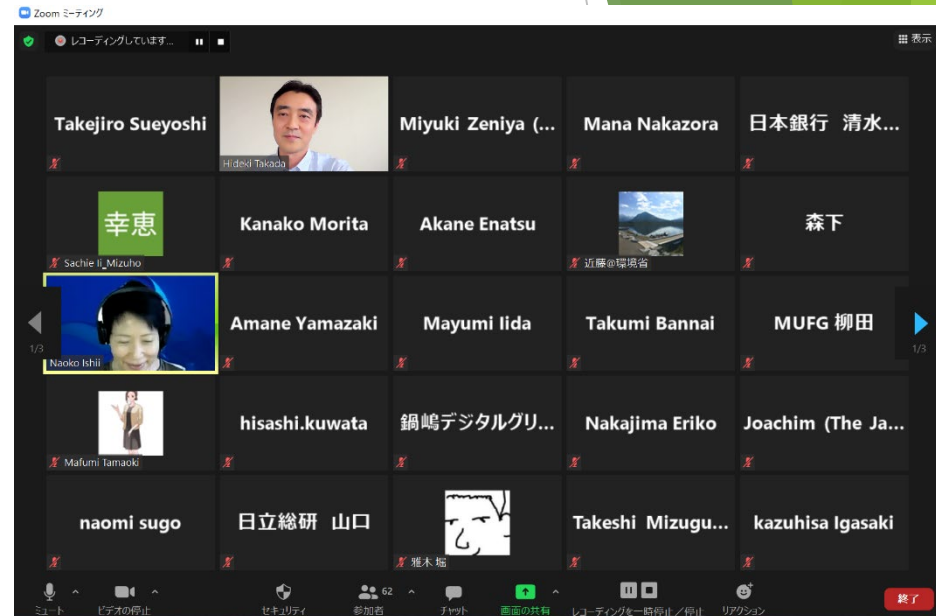
銭谷美幸：第一生命

山崎周：三菱UFJ銀行

梶川文博：経済産業省

桑田尚：金融庁

近藤崇史：環境省



Green Finance Network Japan

世界のステークホルダーとの協働

- ▶ 2019年5月29日：「東京ーロンドン グリーンファイナンスセミナー2019」（東京都庁・駐日英国大使館共催）に協力
- ▶ 2019年6月3日：「サステナブルファイナンスに関する東京ダイアログ」（気候変動イニシアティブ・国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）共催）に協力
- ▶ 2019年6月20日：Climate Bonds Initiativeと共同で、Seminar on Green Bonds and Green Finance Developmentsを開催
- ▶ 2019年6月27日：The Japan TimesにおいてGFNJの活動を紹介する記事掲載
- ▶ 2019年10月10日：在日フランス大使館主催グリーンファイナンスセミナーに協力
- ▶ 2019年12月19日：Responsible Investor ウェビナーに協力
- ▶ 2021年1月29日：The Japan Times ESG TalkにおいてGFNJの活動を紹介
- ▶ 2021年2月10日：「東京ーロンドン グリーンファイナンスセミナー2021」（東京都庁・駐日英国大使館共催）に協力
- ▶ 2021年9月28日：The Japan Times Sustainable Japan Award受賞
- ▶ 2021年10月29日：香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部主催グリーンファイナンスウェビナーに協力